

カスタム車事業 本格展開

HKS、8車種を製作・販売

自動車向けカスタムパーツ製造のエッチ・ケイ・エス（HKS）は、市販車を改造して販売するカスタム車事業を本格的に展開する。計8車種を製作、販売する。付加価値の高いカスタム車を主力の部品に次ぐ事業に育て、ブランド力の向上につなげる。

「THE HKS」のブランドで展開するカスタム車事業は、ベースとなる市販車にエンジンや変速機、マフラーなどの部品を自社開発品に取り換えるなどして全面的に改造し、走行性能などを高める。改造する度合いの低いDimension Xシリーズ、改造度の高いYシリーズ、最も高

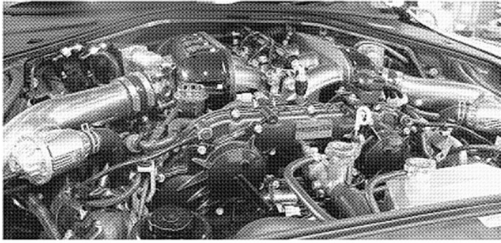
いZシリーズの3つの製品ラインを用意する。Yシリーズでトヨタ自動車「GR86」をベースとする車は、標準装備のエンジンに自社開発の部品を組み合わせる。高性能の過給器を装着するなどして235馬力を最大約400馬力に向上。走りやすさとのバランスを高める。価格



HKSがベース車を改造して販売する「THE HKS GT-R R35 MY24 NISMO」＝同社提供

海外の富裕層に照準

自社部品の認知度高める



HKSが開発した部品をベース車のエンジンに取り付けて改造する（5月、静岡県富士宮市）

は1870万円から。Zシリーズで日産自動車のスポーツ車「GT-R R35 MY24 NISMO」をベースとする車は、レース用と同等の精度で組み上げたエンジンを搭載し、高出力の過給器などを組み合わせて600馬力を最大1200馬力にする。価格は1億1000万円からで、GT-Rチューニングの頂点と位置づける。ほかに手がけるのは日産自動車の「スカイラインGT-R BNR34」、トヨタ自動車の「GRヤリス Gen2」、ホンダの「シビック タイプR」をベースとする改造車。製作する台数は車種によって異なり、1台から複数台を予定する。一部は納入先が決まり、販売の受け付けを終えた。富士宮工場（静岡県富士宮市）で1年程度かけて改造を施し、海外に輸出する。欧米やアジアには高級車を収集し、希少

性を求めて世界に1台しかない高性能のカスタム車を買いたい求める富裕層がおり、こうした層の需要を見込む。

ベース車は、主に1990年代に日本で製造されたスポーツ車を自動車販売店などから仕入れる。米国では製造から25年以上経過した車は、排ガス・安全規制の適用が一部除外される場合がある。

90年代に製造された日本製スポーツ車は米国を中心に海外の収集家の人気が高い。

HKSはエンジンや駆動装置向けのカスタム部品やサスペンション、マフラーなどのチューニング部品を開発、製造し、全国の直営店や系列の自動車用品店などで販売している。26年8月期の連結売上高は前期比4%増

の93億円、純利益は10%減の3億2500万円を見込む。

マーケティング・サイバス課の水野哲也課長は「THE HKSは会社のブランドイメージを高める事業に育てていく。カスタム部品の認知度向上にもつなげたい」と話す。カスタム車の製作、販売に向け、22年に開発や

営業部門から5人を集め、プロジェクトチームを立ち上げた。これまで限定的な台数を輸出してきたが、一定の需要が見込めることから、製作台数を増やし事業として本格的に展開する。カスタム車事業の年間売上高を現在の2億円程度から3年後に5億円規模に引き上げたい考えだ。

（木下美雅）